

2020年12月

～子育て相談～
(月～金曜/10:00～16:00)
子育てで心配なこと、悩み、
どんな小さなことでも
気軽に相談してください。

～オープンガーデン～
天気の良い日は園庭を開放
します。帽子や着替え、
飲み物(お茶)の準備を
お願いします。

<ルーム利用>
10:00～16:00
(月～金曜)
なお、土曜日も
自由開放します

<問い合わせ>
子育て支援センター
(南関こどもの丘保育園内)
TEL:53-6668
FAX:53-6667

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|---|--|---|---|---|----|
| | | 1 ヴァンテージ 英語遊び 14:00～ | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8 ヴァンテージ 英語遊び 14:00～ | 9 BabyDay 10:30～ お昼寝ART ～クリスマスバージョン～ *クリスマスの衣装OK!! | 10 お誕生会 (要予約)10:30～ *3日まで予約をお願いします *1歳以上のお子様と保護者の方に ランチを提供します。 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15 ヴァンテージ 英語遊び 14:00～ | 16 | 17 Maple Family クリスマス会 (要予約・10日まで) 10:30～ プレゼントがあるよ! | 18 お話し会 10:30～ | 19 |
| 20 | 21 ♪身体測定♪ 記録カード作り 10:30～ (～24日まで) | 22 ベビーマッサージ 10:30～ *バスタオルを1枚 持参ください。 | 23 ミニ門松作り (要予約・限定5組) 10:30～時間厳守! *詳細はMapleまで! *町内の方優先です。 | 24 | 25 | 26 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | *Mapleは 12/29～1/4まで おやすみです! みなさんよいお年を～ | |



なんもかんもトッパ丸

★町内小学校運動会!!

♥みんなで優勝目指してファイト♪
町内の各小学校の運動会の応援に行ってきたよ!
今年は新型コロナの影響で、すぐ帰らないといけなくて寂しかったけど、少しでもみんなに会えてうれしかったーっ!



↑ 一小



↑ 二小



↑ 三小



↑ 四小

なんかんトッパ丸のFacebookは右のQRコードからアクセスできます。
※パソコン・スマートフォンの人は、こちらからもアクセスできます

トッパ丸フェイスブック 検索



★交通安全街頭活動!!

♥交通ルールを守ろう!!
こどもの丘保育園のみんなと交通安全の街頭活動をしてきたよ!みんなも自転車や自動車を運転するときは、しっかり交通ルールを守って、事故を起こさないようにしましょうね!



★稲刈り体験

♥美味しいお米!!初めて稲刈り体験してきたんだ♪
今年もおいしいお米が出来たみたいで良かった!
みんなもいっぱい食べて、すくすく成長してね♪



学校応援団 ボランティアだより



地域学校協働活動事務局
(南関町公民館内)
☎53-0007

みなさん初めまして、南関第三小学校地で地域学校協働活動推進員をしています
庄山友紀と申します。私達家族は、4年前に関西から南関町に移住しました。

<放課後の消毒作業実施>

月曜日から金曜日、校舎内の消毒作業では、婦人会、二城山サロンなどの地域の皆さん、保護者の皆さんにサポートしていただき、子どもたちが安心して学校生活を過ごせることができました。5月末から8月末まで長期間のご支援ありがとうございました。

<5年生田植え>

6月下旬、福山さんや相谷地区の皆さんの協力のおかげで、子どもたちは笑顔で田植えをすることができました。子どもたちは、初めての田んぼの感触に興奮を隠せない様子でした。お手伝い頂いたみなさん、本当にありがとうございました。

私たちは、学年毎の行事や授業が円滑に実施できるよう地域・保護者と学校を繋ぐお手伝いをしています。子どもたちの学校で過ごしている姿は、家庭や参観日などと全く違う姿を見せてくれます。私は、その姿を見るのがとても楽しく、保護者に子どもたちの学校生活の様子を少しでも見る機会があればと思っています。そこで、今年度から学級委員さんをおして保護者のみなさんに学校行事のお手伝いをお願いさせていただきます。お時間があるときで結構なので、引き受けていただける人がいらっしやると嬉しいです。よろしくお願いたします。



もつと幸せを求めて～人権の話～224

「貧困」の連鎖を考える

明治十年～二十年代の日本社会は世界有数の「離婚王国」でした。当時の離婚率は三〇%前後で欧米主要国と比べると約三倍の高い割合を示していました。

子を持つ親が離婚に至った場合、その子を誰が育てるのか? 明治期は圧倒的に夫が養育する例が多くその理由には妻(女性)側の経済力の弱さが挙げられていますが最大の理由は「嫁入りした家で生まれた子」という概念であったと推論されています。

しかし、このことは離婚の際の協議で親権者が決められるようになった民法の改正によって変わっていきます。

昭和四十年代には「妻がすべての子の親権」を持つが「夫がすべての子の親権」を持つがを上回りその後、女性の社会的な地位の向上を目指すさまざまな取り組みも重なって平成二十四年の統計では「妻が」が八割強を占めるようになりました。ところが「妻の親権」の増加は思わぬ形で「子どもの貧困」を招いてしまっています。

ユニセフや厚生省などが公表した「子どもの相対的貧困率」によると日本は先進国の中でも高い貧困率となっています。そしてその要因の一つが「非正規労働者」の増大です。非正規の拡大は家庭の収入減を引き起こし、それによって子どもの進学の夢が奪われ就職にも影響しています。

結果として、新たな非正規労働者が生まれるといった悪循環に陥っています。事態を重く見た政府は法整備やプロジェクトの立案で貧困対策に取り組む、ひとり親家庭や多子世帯の支援策を打ち出しています。同時にすべての国民の理解と協力を求めており全国に広がっている「子ども食堂」はその一例で、地域による支援が貧困の連鎖を断ち切る有効な手段になりつつあります。将来を託さねばならないかけがえのない存在に社会全体で光を当てる「待ったなし」の状態だと考えます。(教育課生涯学習係)